

平成 29 年 6 月 9 日

各 位

上場会社名:サムコ株式会社

代表者名:代表取締役社長 石川 詞念夫

(コード番号: 6387 東証第一部) 問い合わせ先:取締役 常務執行役員

管理統括部長 竹之内 聡一郎

T E L: 075-621-7841

業績予想の修正及び繰延税金資産の取崩し 並びに配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成29年2月21日付当社「業績予想の修正に関するお知らせ」にて発表いたしました業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。また、繰延税金資産の取崩し並びに平成28年9月7日付当社「平成28年度7月期決算短信[日本基準](非連結)」にて発表いたしました配当予想の修正について、併せてお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

平成29年7月期通期個別業績予想数値の修正(平成28年8月1日~平成29年7月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 4,100	百万円 130	百万円 120	百万円 80	円 銭 9.95
今回修正予想(B)	3, 150	▲320	▲ 310	▲ 325	▲ 40. 45
増減額(B-A)	▲950	▲ 450	▲ 430	▲ 405	
増減率(%)	▲ 23. 2	_	_	_	
(ご参考) 前期実績 (平成 28 年 7 月期)	5, 345	744	555	348	44. 24

修正の理由

当第3四半期累計期間は、高周波デバイス等各種電子部品への設備投資需要の減速に加え、新規の生産設備投資案件が先延ばしとなる傾向が継続しており、上半期に引き続き受注が伸び悩んでおります。現下の厳しい経営環境の中、足元の商談状況を勘案した結果、通期の売上高、利益共に予想値を下回る見込みであり、上記の通り修正いたしました。経費削減の努力や、生産性の向上に向けた取り組みを推進しておりますが、売上高が当初予想を大幅に下回る影響により、赤字決算となる見通しであります。なお、為替レートは、期初(平成28年7月末時点)の1ドル=104.42円の想定の下、外貨預金等の為替評価損益による影響は反映しておりません。

当社が事業を展開する化合物半導体市場は、LED、LDなどのオプトエレクトロニクス分野や、高周波デバイス、各種センサー、MEMS、パワーデバイスなどの電子部品分野を中心に、大きな成長が期待されております。一方で、近年、当社は生産用途向け装置の販売が拡大し、顧客の新規の設備投資の振幅に大きな影響を受けやすくなっており、また、受注生産であることから販売時期の繁閑の波が大きく、期間損益に影響を与えております。当期におきましては、設備投資の波の振幅が顕著なものとなった結果、当初計画比で大幅な業績悪化となる見通しとなりました。

創業以降、また上場以降初となる通期赤字決算の見込みの発表により、株主の皆様にご心配をおかけすることとなり、心よりお詫び申し上げます。今後につきましては、早期の業績回復、収益力の向上に全社一丸となって取り組んでまいりますので、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

2. 繰延税金資産の取崩しについて

当期の業績見通しを踏まえ、繰延税金資産の回収可能性につき慎重に検討いたしました結果、平成29年7月期第3四半期決算において繰延税金資産の取崩しを行い、法人税等に105百万円を計上いたしました。

3. 配当予想の修正について

	年間配当金							
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
前回予想	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭			
(平成28年9月7日発表)	_	_	-	20.00	20.00			
今回修正予想	_	_	-	15. 00	15. 00			
当期実績	_	0.00	_					
前期実績 (平成 28 年 7 月期)	_	0.00	_	20.00	20. 00			

修正の理由

株主に対する利益還元は企業の基本的責務であり、配当額の決定は経営の重要施策のひとつと認識しており、安定的な配当継続を重視して株主への利益還元に努めておりますが、本日発表の業績予想の通り、赤字決算となる見通しとなりました。

従いまして、誠に遺憾ではございますが、期末配当の予想を1株当たり20円00銭と発表しておりましたが、5円00銭減配の15円00銭に修正させていただきます。

(注)上記の業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断 する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

以上